

所属	看護学部／基盤看護学系	職名	教授	氏名	安酸 史子
----	-------------	----	----	----	-------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

1978年自衛隊中央病院附属看護学院卒業。看護師経験の後、1981年千葉大学看護学部入学。1987年千葉大学大学院看護学研究科修了。順天堂大学病院浦安分院で看護師として勤務後、東京女子医科大学看護短期大学助手、岡山県立大学保健福祉学部看護学科助教授・教授、岡山大学医学部保健学科看護学専攻教授を経て、2003年本学に初代学部長として着任。2009年には、看護実践教育センターを立ち上げ、センター長として糖尿病看護認定看護師教育課程の教育も担当している。2010年からは研究・社会貢献担当の大学理事を兼務している。

現在取り組んでいる研究は、①経験型実習教育の研修プログラムの有効性に関する研究、②糖尿病患者教育における看護専門職として醸し出す雰囲気 (Professional learning climate)、③看護系大学連携によるケアリング・サイクルの形成、である。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

<著書>

- ・安酸史子. (2009). 教育的ケアリングモデル・経験型実習教育. 180-190. (グレッグ美鈴・池西悦子編著(2009). 看護教育学. 南江堂.)
- ・安酸史子. 改訂2版 糖尿病患者のセルフマネジメント教育 エンパワメントと自己教育、メディカ出版、2010.
- ・安酸史子編著. 改訂版 実践成人看護学—慢性期、建帛社、2010.

<論文>

- ・櫛直美、安酸史子、小野美穂、清水夏子：「主体的健康づくりを促すための健康支援モデルに関する研究—筑豊市民大学看護ゼミ生における行動変容へのアプローチ—」、第40回日本看護学会論文集、2010.
- ・安酸史子：エンパワメント、日本腎不全看護学会誌、12(1)、31-38、2010.
- ・安酸史子：糖尿病性腎症患者の看護、腎不全看護、中外製薬株式会社、12-14、2010.
- ・安酸史子：看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州・沖縄構想、ほすびたる No.634、2010.
- ・安酸史子・巖紅・郎継紅：実践教学方法在日本看護臨床的運用. 中医教育、29(3)、67-71、2010.
- ・中野榮子、安酸史子、佐藤香代、小松啓子、津田智子、岡村真理子、清水夏子、巖紅、原田直樹、金賢実、田恩永、鄭英美、李洪子、金耕園：東洋医学に関する日本と韓国の看護学生の意識調査. 福岡県立大学看護学研究紀要 第8巻第1号 pp27-35、2011.
- ・安酸史子、北川明、山住康恵：看護系14大学が連携するケアリング・アイランド九州沖縄構想、看護展望、36(4)、23-28、2011.
- ・櫛直美、吉田恭子、江上史子、福田和美、安酸史子：地域住民の主体的健康活動の質を高める支援に関する検討 参加・共同型看護ゼミでの体験を通して得られた効果の検証. 福岡県立大学看護学研究紀要第8巻2号、75-82、2011.
- ・安酸史子：【看護学におけるケアリングの現在】 ケアリングをいかにして教育するか. 看護研究第44巻2号、172-180、2011

### ②その他最近の業績

<学会講演>

- ・安酸史子. (2009,8). アンドラゴジー. 日本腎不全看護学会ワークショップ. 横浜.
- ・安酸史子. (2009,1). 第3回日本腎不全看護学会九州・沖縄地区教育セミナー. 糖尿病患者の看護. 日本腎不全看護学会. 福岡.
- ・安酸史子. (2009,9). 教育講演「看護の教育的関わりモデル—患者教育に必要なPLC—」. 日本糖尿病教育看護学会. 札幌.

- ・安酸史子. (2009,7). 教育講演「循環器看護におけるセルフマネジメント」. 心臓リハビリテーション学会, 東京.
- ・安酸史子. (2009,11). 教育講演「エンパワメント」. 日本腎不全看護学会, 神戸.
- ・安酸史子. (2010,2). フットケア療法におけるセルフマネジメント、第8回日本フットケア学会学術集会ランチョンセミナー、東京.
- ・大島弓子、安酸史子、雑賀美知子、前川幸子、村中陽子. (2011.8). 日本看護学教育学会特別企画Ⅰ「教育の質向上をめざした能力の育成」、第21回日本看護学教育学会、大宮.
- ・上野真紀子、生駒千恵、岡村禎子、加藤聡枝、喜田ひとみ、北出優華子、桜木りゑ、徳野みどり、中元真由美、春田さゆり、田村美和、藤井純子、本田千春、安田幸司、矢野百合子、渡邊智恵美、安酸史子. 交流集会「わかる！使える！やる気を高める！エンパワメントを活かした糖尿病看護」、第16回日本糖尿病教育／看護学会、東京.
- ・日高艶子、白水麻子、飯野英親、松岡緑、高橋清美、小野正子、前田由紀子、竹元仁美、中島富有子、北原悦子、山住康恵、北川明、安酸史子. (2011,12). 交流集会「新人看護師の離職予防に向けた場合とリーチ型サポートモデルの開発」、第31回日本看護科学学会、高知.
- ・安酸史子. (2011,11). 教育講演「患者の力を引き出すセルフマネジメントの実際」. 第8回日本循環器看護学会、仙台.

#### 〈学会発表〉

- ・櫛直美、安酸史子、小野美穂、清水夏子. (2010). 地域住民参加・共同型看護ゼミによる保健行動変容への動機付けに関する検討. 第40回日本看護学会地域看護、長野.
- ・万代ゆかり、澤田由美、安酸史子. (2009). 在宅看護論実習における学生の行動一訪問看護実習場面の体験に焦点を当てて. 第19回日本看護学教育学会、北見.
- ・小野美穂、添田百合子、山田靖子、安酸史子. (2009). 「糖尿病患者へのセルフマネジメントモデル」の学習会と事例検討会を用いたアクションリサーチ. 第14回日本糖尿病教育・看護学会、札幌.
- ・森口智恵子、安酸史子. (2009). 臨床看護師の臨床看護研究に対する自己効力感尺度の開発に関する研究. 第29回日本看護科学学会、幕張.
- ・櫛直美、安酸史子、小野美穂、清水夏子. (2009). 地域住民参加・共同型看護ゼミによる保健行動変容への動機付けに関する検討. 第40回日本看護学会地域看護、松本.
- ・安酸史子、飯野英親、東玲子、小野正子、村山由紀子、前田由紀子、石原逸子、高橋清美、日高艶子、竹元仁美、白水麻子、松岡緑、北原悦子、北川明. (2010). 新人看護師の離職予防に向けたサポートモデルの開発(交流集会)、第30回日本看護科学学会学術集会、札幌.
- ・北川明、生野繁子、櫛本和代、坂井邦子、金城忍、仲宗根洋子、中嶋恵美子、塚原ひとみ、正野逸子、室屋和子、清水夏子、小森直美、山住康恵、安酸史子. (2010). 大学卒業1年目看護師の看護技術支援に関するニーズ、第30回日本看護科学学会学術集会、札幌.
- ・清水夏子、安酸史子. (2010). 学生が抱く実習直前の不安に対するプロジェクト学習の効果、第30回日本看護科学学会学術集会、札幌.
- ・清水夏子、安酸史子. (2010). 経験型看護実習教育での教授行動が学生の対話意欲及び行動に与える影響、第20回日本看護学教育学会、大阪.
- ・清水夏子、安酸史子、中野榮子、犬塚央、田原英一、三瀧忠道. (2010). 看護大学生に対する“東洋医学概論”の試み、第36回日本東洋医学会(九州支部学術総会)、鹿児島.
- ・山住康恵、北川明、日高艶子、竹元仁美、白水麻子、松岡緑、飯野英親、小野正子、前田由紀子、石原逸子、高橋清美、北原悦子、松浦賢長、安酸史子. (2011,8). 看護管理者が看護系大学に望む新人看護師の離職防止対策の内容、第21回日本看護学教育学会、大宮.
- ・Nakashima E, Tsukahara H, Ura A, Kinjo S, Nakasone Y, Shouno I, Muroya K, Shono S, Hazemoto K, Sakai K, Kitagawa A, Yamazumi Y, Yasukata F: Actual condition of nursing skills support and satisfaction of novice nurses who received the support. The 2nd WANS, Cancun, 2011

- Tsukahara H, Nakashima E, Inoue M, Kinjo Y, Shono S, Hazemot K, Sakai K, Matsuoka M, Tetsui C, Yamada T, Inagaki K, Uza M, Sunagawa Y, Teruya N, Komori N, Shimizu N, Yamazumi Y, Kitagawa A, Yasukata F : An analysis of the clinical practice guidance system and the surveys on training requirements of clinical practice instructors in Japan. The 2nd WANS, Cancun, 2011
- Yasukata F, Kitagawa A, Yamazumi Y, Shimizu N, Komori N, Matsuura K : Common issues among colleges of nursing in Japan and collaborative efforts by universities to solve the issues. The 2nd WANS, Cancun, 2011
- Kitagawa A, Yamazumi Y, Shouno I, Muroya K, Shono S, Hazemoto K, Sakai K, Kinjo S, Nakasone Y, Nakashima E, Tsukahara H, Shimizu N, Yasukata F : Conducting needs analysis with a view to improving the skills of newly graduated nurses in Japan. Sigma Theta Tau International 22nd Nursing Research Congress, Cancun, 2011
- Iino H, Ono M, Maeda Y, Matsuoka M, Tetsui C, Ishihara I, Takahashi K, Hidaka N, Takemoto H, Shirouzu A, Kitahara E, Yamazumi Y, Kitagawa A, Yasukata F : Factors related to turnover among new Japanese nurses. Sigma Theta Tau International 22nd Nursing Research Congress, Cancun, 2011
- Yamazumi Y, Kitagawa A, Hidaka N, Takemoto H, Shirouzu A, Matsuoka M, Tetsui C, Iino H, Ono M, Maeda Y, Ishihara I, Takahashi K, Kitahara E, Yasukata F : Factors that Affect Turnover Rate and Voluntary Quitting of Jobs by Newly Graduated Nurses. The 2nd WANS, Cancun, 2011
- 松枝美智子、坂田志保路、安永薫梨、浅井初、梶原由紀子、安田妙子、北川明、中野榮子、安酸史子。(2011,12)。モジュール型精神障害者社会復帰促進研修プログラムの開発：看護観と援助への動機付け育成コース、第31回日本看護科学学会、高知。
- 松枝美智子、坂田志保路、安永薫梨、浅井初、梶原由紀子、安田妙子、北川明、中野榮子、安酸史子。(2011,12)。モジュール型精神障害者社会復帰促進研修プログラムの開発：直接ケア能力育成コース、第31回日本看護科学学会、高知。
- 山住康恵、北川明、松岡緑、飯野英親、前田由紀子、小野正子、日高艶子、白水麻子、高橋清美、中島富有子、北原悦子、竹元仁美、松浦賢長、安酸史子。(2011,12)。新人看護師の早期離職予防に必要な職場環境に関する調査。第31回日本看護科学学会、高知。
- 前田由紀子、飯野英親、小野正子、石原逸子、高橋清美、日高艶子、白水麻子、竹元仁美、松岡緑、中島富有子、北原悦子、山住康恵、北川明、安酸史子。(2011,12)。新人看護師の離職防止のために大学が取り組む支援、第31回日本看護科学学会、高知。
- 中嶋恵美子、塚原ひとみ、浦綾子、大倉美鶴、黒髪恵、田中美加、福田和美、山田小織、金城忍、仲宗根洋子、正野逸子、室屋和子、生野繁子、樋本和代、坂井邦子、北川明、松浦賢長、安酸史子。(2011,12)。大学が取り組む新人看護師に対する看護技術支援、第31回日本看護科学学会、高知。
- 塚原ひとみ、中嶋恵美子、宇座美代子、砂川洋子、照屋典子、生野繁子、樋本和代、坂井邦子、松岡緑、横川裕見子、清水夏子、松浦賢長、安酸史子。(2011,12)。九州・沖縄の看護系13大学の臨地実習施設看護部責任者が大学／看護教員へ望むこと、第31回日本看護科学学会、高知。
- 大黒えりか、北川明、安酸史子。(2012,12)。eラーニングにおける学習継続要因の調査、第31回日本看護科学学会、高知。

<シンポジウム>

- 安酸史子。(2009,2)。糖尿病患者を支える心理的アプローチ、糖尿病学の進歩、シンポジスト、松本。
- 安酸史子。(2009,9)。患者教育専門家の立場で—慢性疾患患者に対するセルフマネジメント支援について。日本看護学会成人Ⅱシンポジウム「その人らしく輝けるために」。鳥取。

- ・安酸史子. (2009,9). シンポジスト「看護実習教育で学生の実践力を培う」. 日本看護学教育学会. 北見.
- ・安酸史子. (2009,9). シンポジスト「新人看護師に求められる看護技術とケアリング・マインド育成の狭間」. 日本医療マネジメント学会. 博多.

〈パネルディスカッション報告〉

安酸史子. (2009,3). 看護系大学の将来を担う教員に対するFDのあり方について—大学院生・新人教員に向けての準備教育—, —大学における教授の指導力—. 平成19年度・平成20年度パネルディスカッション報告. 日本看護系大学協議会ファカルティ・ディベロプメント委員会, 1-46.

〈報告書〉

- ・名和田新、安酸史子、大池美也子、北原悦子、正野逸子、室屋和子、松浦賢長、巖紅、北川明、小森直美、樋口善之、他 (2010年). 看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想プロジェクト中間報告書. (平成21年度 大学充実のための戦略的大学連携支援プログラム)
- ・名和田新、安酸史子、大池美也子、北原悦子、正野逸子、室屋和子、松浦賢長、巖紅、北川明、山住康恵、清水夏子、他 (2011年). 看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想プロジェクト中間報告書. (平成21年度 大学充実のための戦略的大学連携支援プログラム)

③過去の主要業績

- ・安酸史子: 「糖尿病患者の食事自己管理に対する自己効力感尺度の開発に関する研究」(博士論文)、東京大学, 1997.
- ・藤岡完治、安酸史子、他: 「学生とともに創る臨床実習指導ワークブック第2版」、医学書院、2001.
- ・安酸史子: 改訂2版「糖尿病患者のセルフマネジメント教育 エンパワメントと自己効力」、メディカ出版、2010.

3. 外部研究資金

- ・文部科学省、基盤研究(B)、経験型実習教育の研修プログラムの有効性に関する研究、360万、平成21年度から平成24年度.
- ・厚生労働科学研究費補助金、免疫アレルギー疾患予防・治療研究に係る企画及び今後の方向性の策定に関する研究(H23-免疫-指定-002), 「慢性疾患患者へのセルフマネジメントプログラムの効果の検証」分担代表, 400万, 平成23年度から平成25年度.

5. 所属学会

日本看護学教育学会理事、日本看護科学学会理事、日本教師学学会理事、日本健康教育学会評議員、日本看護研究学会評議員、日本糖尿病教育看護学会

6. 担当授業科目

〈学部〉

継続看護教育論・2単位・編入3年・前期、教師論・2単位・3年前期、看護実践論(学部生)・1単位・3年前期、看護実践論(編入生)・1単位・3年前期集中、看護教育学・2単位・4年前期、看護管理論・2単位・4年後期、ケアリングと教育・2単位・4年前期、専門看護学ゼミ・2単位・4年前期

〈大学院〉

看護教育学特論・2単位・1年前期、看護教育学演習・2単位・1年後期、看護教育学・2単位・1年後期、基盤看護学特別研究・8単位・修士2年・通年

## 7. 社会貢献活動

- ・メディカ出版発行月刊誌『糖尿病ケア』編集長
- ・筑豊市民大学ゼミ「ヘルシー・エイジング」担当
- ・国際ケアリング学会プログラム委員長
- ・第 22 回日本看護学教育学会学術集会企画委員

## 8. 学外講義・講演・ワークショップ

### 〈学外講義〉

- ・安酸史子. (2011). 実習指導者講習会フォローアップ研修、岡山県看護協会, 岡山
- ・安酸史子. (2011). プリセプティ指導について, 済生会山口総合病院プリセプター研修, 山口
- ・安酸史子. (2011). よりよい論文査読のために, 日本糖尿病教育・看護学会編集委員会主催研修, 大阪.
- ・安酸史子. (2011). 看護教育論, 岡山大学大学院, 岡山
- ・安酸史子. (2011). プリセプター制度について, 宮崎国立病院, 宮崎
- ・安酸史子. (2011). ケアリング理論について, 名桜大学
- ・安酸史子. (2011). 第 2 回認定看護師教育課程フォローアップ研修, 福岡県立大学看護実践教育センター, 博多
- ・安酸史子. (2011). 患者教育に必要な教育技法, 看護協会認定看護師養成講習, 東京
- ・安酸史子. (2011). 患者教育に必要な教育技法, 日本赤十字看護大学認定看護師養成講習, 東京
- ・安酸史子. (2011). 自分らしく病気とつきあうために, 日本セルフマネジメント協会, 熊本
- ・安酸史子. (2011). 実習指導概論, 福岡県実習指導者講習会, 博多
- ・安酸史子. (2011). プリセプターとしての指導のあり方, 山口赤十字病院, 山口
- ・安酸史子. (2011). 患者の行動変容を促すアプローチ, 愛媛大学, 松山
- ・安酸史子. (2011). 実践能力を育成する臨床実習と教育評価, 東邦大学佐倉看護専門学校, 佐倉
- ・安酸史子. (2011). アメリカの看護教育改革, 名桜大学, 名護
- ・安酸史子. (2011). 経験型実習教育, 名桜大学, 名護
- ・安酸史子. (2011). 実習指導概論, 岡山県看護実習指導者講習会, 岡山
- ・安酸史子. (2011). 患者さんのやる気を信じるセルフマネジメント教育、慢性疾患セルフマネジメント協会, 熊本
- ・安酸史子. (2011). 介護実習教育に求められる指導者の役割、平成 23 年度介護実習研修会、熊本.
- ・安酸史子. (2011). 教員と指導者と学生が力あわせをして楽しく意味ある臨床実習にするための知恵を出し合おう！、あさくら看護学校合同研修会、福岡.
- ・安酸史子. (2011). 糖尿病患者の心理、平成 23 年度長崎県糖尿病看護実践に強い看護師育成研修会、長崎.
- ・安酸史子. (2011). 患者さんのやる気を信じる療養指導、第 6 回中四国糖尿病研修セミナー、島根.
- ・安酸史子. (2011). セルフマネジメント及び関連理論について、広島大学大学院講義、広島.
- ・安酸史子. (2011). 教育能力向上のための研修会「ポートフォリオを活用したプロジェクト学習」、日本看護学教育学会教育活動推進委員会、博多.
- ・安酸史子. (2011). 教育能力向上のための研修会「ポートフォリオを活用したプロジェクト学習」、日本看護学教育学会教育活動推進委員会、東京.

## 9. 附属研究所の活動等

看護実践教育センター長